

「現代GPの活動報告書について」が 開催されました

現代GP報告書について

チャレンジセンターが2006年7月に採択を受けた現代GP「東海大学発USR型モデルの創出・実践—多様なヒューマンリソースをマッチングして実践する地域活性化プロジェクト—」における、2006年4月のチャレンジセンター発足から3年間の取り組みの目的・内容・結果、そして今後の展望をまとめたものです。

日時: 2009年5月18日(月) 11:30 ~ 12:00

場所: チャレンジセンタープロジェクト会議室(8号館3階)

司会: 岡田 工(チャレンジセンター准教授)

内容:

1. 現代GPの活動報告書について(深谷浩憲 チャレンジセンター推進室係長)
2. 活動報告書を振り返って(飯塚浩一 チャレンジセンター次長・主任)
3. 補足・質疑

まず、深谷係長から、活動報告書の内容構成と特徴についての説明が行なわれました。活動報告書の構成は、PDCAサイクルに沿った章立てになっており、最初から読み進めることによって活動の発端や企画(plan)、実行内容(do)、確認(check)、今後の活動方針(action)について順に理解できる仕組みになっており、特に、学内外の連携を実現するためにチャレンジセンターがどのような機能を果たすかという位置づけや、センターの教育目標として「多様なものを統合できる力」を掲げ、リーダーシップとプロジェクト・マネジメントについて教育活動を行ったことなどが重点的に報告されました。また、今後の課題として、科目とプロジェクト活動の連携のありかたについて引き続き検討を進めていく必要があることが指摘されました。



続いて、飯塚次長から、報告書作成を通じて得られた所見の報告がありました。この現代GPの取り組みはひとつの“実験”であり、この実験結果をふまえて、今後、新しい教育システムの確立をめざすべきだという指針が述べられました。具体的には、今後のプロジェクトのありかたを再構築すること、集い力・挑み力・成し遂げ力の教育に当たっては、学部・学科との連携を強める必要があることが強調されました。最後にフロアとの質疑応答が行なわれ、課題点の指摘や今後の展開についての意見交換が行われました。



※『現代GP活動報告書』は、今後、チャレンジセンターホームページ
現代GPページよりダウンロードし閲覧して頂けます。

http://www.u-tokai.ac.jp/challenge/dekachalle_about_gp.html